



▶津久田人形櫻座300年祭の開催を祝してあいさつ

新型コロナウイルス感染症が、インフルエンザと同じ扱いになり、半年がたちます。コロナ禍を乗り切つて、ようやく日常生活が戻りつつあります。

今年の秋は、体育祭、文化祭、産業祭、ふるさと祭



り、敬老会などが一齊に復活しました。4年ぶりに再開した行事が多く、準備に携わった関係者の皆さんには大変だったと思います。たくさんの会場を見せてもらいましたが、どこに行つても、笑顔があふれています。コロナで空白があつても、こうして行事を開できるエネルギーが地域にあることは、すごいと思いました。

中でも、久しぶりに復活した「津久田人形櫻座生誕300年祭」は圧巻でした。津久田人形は、戦争や後継者不足で中断と再開を繰り返しながらも、地域の人たちの熱意で伝統をつなぎました。そして、今回新たに、津久田小学校人形クラブの児童が参加して「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」を見事に演じました。見ていた多くの人が感動し、おひねりが飛び交いました。私も目頭が熱くなりました。こうした伝統行事やイベントは、平和で安心して暮らせる社会でなければ続けることはできません。そのことを実感できた今年の秋は、「特別な秋」です。